



第1回 ベトナム起業——失敗から学んだ経営の教訓(前半)

ベトナムのスタッフたちにも浸透した ロジカルかつシンプルな「ワクワク経営」

「ワクワク、感のある素晴らしい組織に、イキイキとした人材が集い、そこから提供されるサービスがお客様のニコニコ、(満足)を生む。その結果として、目に見える資産である『金融資産』や『物的資産』が増える」——。実践ワクワク経営研究会ではその思いやノウハウを披露し、共有し合っていく。



蕪木 優典

アイグロ-カルグループ代表

第1回目スピーカーはベトナムで会計税務をはじめとしたコンサルティングサービスを提供するアイグロ-カルグループの代表、蕪木優典氏が「ベトナム起業——失敗から学んだ経営の教訓」について話した。今号ではその前半部分を掲載する。

ベトナムでビジネスをはじめた当初、私は世間一般でいうところの優秀な人材を集めたいと思い、学歴などを重視した人材採用を実施していましたが、いかに学歴があり、優秀な人材を採用しても、その人が会社にとって本当にいい人材なのかといえど、実のところわかりません。実際、私はベトナムで世間的に優秀といわれるような人材を採用し、結果的に成果が出なかったことが多くありました。

ずいぶん前の話ですが、一番ショックだったのは6人のスタッフに一齐に、しかも突如として辞表メールが送付されたことです。それはある種のクーデターの動きだったわけですが、実際は彼らの会社に対する不満のあらわれでした。結局、一人ひとり説得した上で、順番に退社してもらいましたが、そのような状態になるまで私は彼らとそれなりの信頼関係で結ばれていると信じていました。しかし、彼らは私の考え方や会社のあり方が、まったく共感していなかったのです。というよりも、その当時は会社のあり方が存在していなかったのです。

そのほか、スタッフによる情報漏えい問題になったこともありました。退職した

スタッフが以前にウェブ上のサーバに顧客情報が入った書類をアップしてしまったり、それが後になって顧客の目に留まってしまったのです。以来、私はただスタッフを一方的に信用するのではなく、たがいに納得した上で守秘義務契約などを結ぶことの重要性を学びました。また、信頼関係というのは、たがいの行動で示していくことだと痛感しました。

こうした失敗を経て、私は3年ほど前にスタッフ全員が納得できる経営のあり方が必要なのではないかと考えるようになりました。そして、そのときに思い出したのが前職の会計事務所(ア-サー・アンダーセン)の先輩である三富正博さんの言葉でした。三富さんは当時から「ワクワク」感のある素晴らしい組織に、「イキイキ」とした人材が集い、そして、提供されるサービスがお客様の「ニコニコ」(満足)を生む」という「ワクワク経営」を提唱していたのですが、そのことをふと思い出したのです。以来、私は三富さんに「ワクワク経営」について教えていただき、現在は三富さんとともに(株)バリュークリエイトという会社で、一緒になって「ワクワク経営」

という経営のあり方の普及に努めています。

ところで、多くの日系企業は自社のビジョンやミッション、社是・社訓を一方的に社員に押し付けてしまいがちですが、それは海外では逆効果となります。私自身、経営理念をスタッフに一生懸命に伝えていた時期があるのですが、ある日、スタッフから「蕪木さんのいうことは理解できるけど、納得はできない」といわれたことがあります。そして、現場に冷たい空気が流れるようになり、スタッフのモチベーションがそもそもなかったことを知りました。つまり、言葉や考え方が違う海外では一方的な押し付けではなく、スタッフが共感できるロジカルかつシンプルな経営のあり方を示す必要があるのです。

そこで、私は「ワクワク経営」を普及させてみることにしました。結果としてそれは大成功でした。「ワクワク経営」はベトナムのスタッフにもわかりやすく、アツという間に浸透していったのです。今では現地スタッフはみんな、「ワクワク」「イキイキ」「ニコニコ」を合言葉に、楽しく働いてくれています。当然、離職率なども低下し、組織にもいい循環が生まれるようになりました。



第2回「実践ワクワク経営研究会」開催!!
9月11日の午後6時~9時半(懇親会を含む)に開催。(株)バリュークリエイト代表で、「ワクワク経営」の提唱者でもある三富正博氏がスピーカーを務める。登録会費は無料なので、ぜひとも奮って会員登録、ご参加いただきたい。

問い合わせ(担当:佐藤美千翔):
michika.sato@valuecreate.net

「がらぎゆうすけ」 1972年生まれ。94年度慶応義塾大学経済学部卒業。96年朝日監査法人現あずさ監査法人)に入所。2000年ア-サー・アンダーセン(現KPMGベトナム)に出向し、以来、ベトナムでのビジネスに携わる。同年、日本で初めてベトナム公認会計士試験に合格し、ベトナム公認会計士登録。03年ベトナム初の日系資本会計事務所「アイグロ-カルグループ」創業。10年、カンボジア初の日系資本会計事務所創業。11年カンボジア会計士協会に会計士登録。日本、ベトナム、カンボジアを往々来しながら「ワクワク経営」を実践中。

